

魚沼基幹病院 倫理審査委員会 オプトアウト書式

|   |  |
|---|--|
| ①研究課題名  | 患者の状態に応じた適切な修正型電気痙攣療法の実施条件についての検討  |
| ②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者   |  |
| 対象者 : 当院で修正型電気痙攣療法を実施した全患者<br>研究責任者 : 渡部 雄一郎  |  |
| ③概要   |  |
| 電子カルテから、年齢、性別、合併症、処方されている薬剤の種類や用量、修正型電気痙攣療法の実施条件（実施回数、実施頻度、刺激強度、パルス幅）、臨床症状の変化、有害事象に関する情報を収集します。 |  |
| ④申請番号   | 05-013   |
| ⑤研究の目的・意義   | 電気痙攣療法（ECT）は 1938 年以降、薬剤抵抗性の統合失調症や気分障害等の治療広く用いられてきました。現在は全身麻酔と筋弛緩を伴う修正型電気痙攣療法（mECT）が行われ、効果に影響を及ぼす要因についても検討がなされております。しかし、患者の年齢や合併症によって有害事象の発生頻度が異なること、施設ごとに詳細な条件が異なること、同一施設での長期間の追跡が困難なことなどから、適切な実施条件（頻度、回数、刺激強度、パルス幅等）について明確な結論は得られておりません。実施頻度に着目すると、経験的な知見や一部の研究から、週に 2 回または 3 回を目安に実施する施設が多いですが、せん妄の頻度や痙攣閾値の上昇の観点からは、週に 1 回での実施が奏功する場合があります。本研究では、当院で修正型電気痙攣療法を実施された患者を対象として、その効果に及ぼす影響を明らかにすることを目的として、診療録調査を行います。 |
| ⑥研究期間   | 倫理委員会承認日から令和 10 年 3 月 31 日まで   |
| ⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）   | 電子カルテから、年齢、性別、合併症、処方されている薬剤の種類や用量、修正型電気痙攣療法の実施条件（実施回数、実施頻度、刺激強度、パルス幅）、臨床症状の変化、有害事象に関する情報を収集します。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。   |

|                      |  |
|----------------------|--|
| ㊸利用または提供する情報の項目      | 年齢、性別、合併症、処方されている薬剤の種類や用量、修正型電気痙攣療法の実施条件（実施回数、実施頻度、刺激強度、パルス幅）、臨床症状の変化、有害事象 |
| ㊹利用の範囲               | 魚沼基幹病院 精神科   |
| ㊺試料・情報の管理について責任を有する者 | 魚沼基幹病院 診療部精神科 渡部雄一郎  |
| ㊻お問い合わせ先             | 魚沼基幹病院 診療部精神科 薄田芳裕<br>TEL：025-777-3200（代表）<br>E-mail：usuda82@gmail.com     |